

第59回
デーリー東北新聞社杯
八戸市実業団
アイス
ホッケー

アイスホッケーのデーリー東北新聞社杯第59回八戸市実業団リーグ戦第4日は22日、テクノルアイスパーク八戸で1試合が行われ、八戸ブルースターズがペナルティショットシュートアウト(PSS)戦の末5-4で八学大に勝利した。

ブルースターズは開始早々の八学大の猛攻を無失点でしのぐと、古館叶夢がパスワークの中から先制。さらにカウンターから古館が2点目を奪い、第1ピリオド(P)を2-0で終えた。しかし、第2Pは八学大に守備のほころびを突かれて逆転を許す。第3Pにも加点されたが、そこから得点して同点に追い付き、PSSで勝利をつかんだ。

第5日の25日は八学大が棄権したため、吉田産業の不戦勝となり、試合は実施しない。第6日の26日は青い森信金-八戸クラブが行われる。

(桑田友人、才神利奈)

▽リーグ戦第4日
 八戸アル 52-04 八学大
 1スター 0-3 (1勝1敗)
 ス 2-1
 (1勝1敗) PSS

▽得点:古館2、坂本真、尾野、安田(ア)、河村3、米田(学)▽補点:松田、磯谷、秋山晋、安田(乙)、工藤2、林、川岸2(学)

尾野、冷静に
同点ゴール

○:八戸ブルースターズが土壇場で追い付き、ペナルティショットシュートアウト(PSS)戦の末に逆転勝利を飾った。

第1ピリオド(P)に古館叶夢が2点を奪うも、第2Pに八学大の猛攻を浴びて逆転を許す苦しい展開。それでも、第3Pにティブエンスの要である尾野貴之がメンバーを奮い立たせると、チームは持ち味であるハードワークを発揮した。坂本真哉が1点を返し、勢いに乗った尾野が冷静にゴールを決めて同点に。尾野は「いいタイミングでパスが来てくれた。意地を見せることができた」と振り返った。

PSS戦は3人目の安田徹が決め、見事チームを勝利に導いた。安田は「おとこの延長戦で外したりベンチを果たせて良かった」と安堵の表情で語った。